

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-508363(P2005-508363A)

【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-539685(P2003-539685)

【国際特許分類】

C 0 7 D 295/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/70 (2006.01)

A 6 1 K 31/495 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 401/06 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 295/14 C S P A

A 6 1 K 9/70 4 0 1

A 6 1 K 31/495

A 6 1 K 31/496

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 D 401/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月31日(2005.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

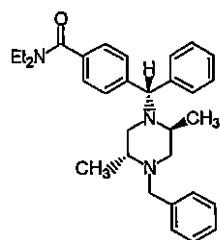
【特許請求の範囲】

【請求項1】

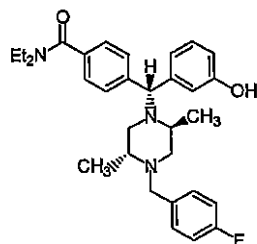
気分障害の治療のための医薬を製造するための化合物であって、前記化合物は：

【化 1】

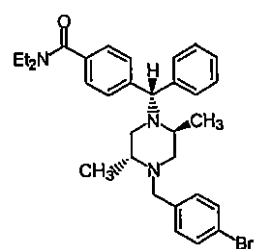
(i)



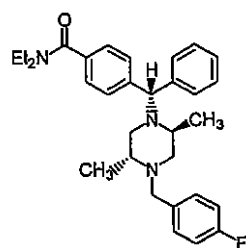
(ii)



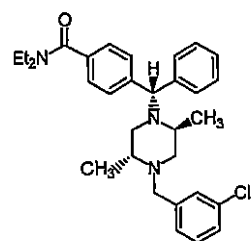
(iii)



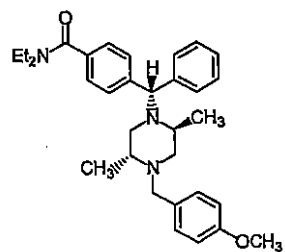
(iv)



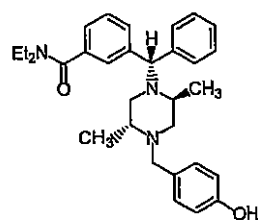
(v)



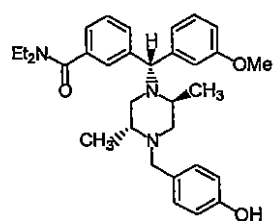
(vi)



(vii)

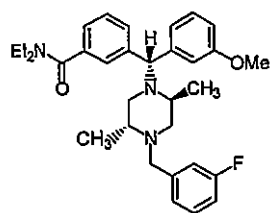


(viii)

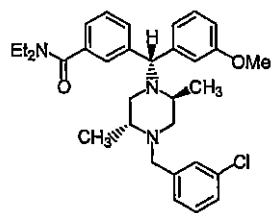


【化 2】

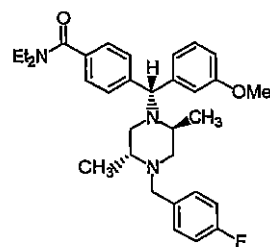
(ix)



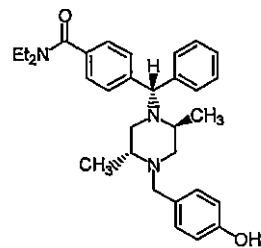
(x)



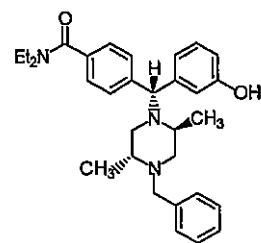
(xi)



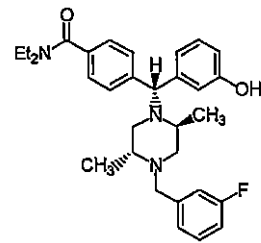
(xii)



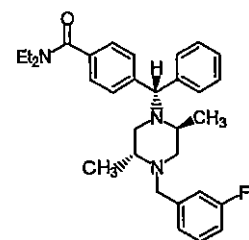
(xiii)



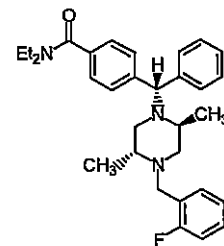
(xiv)



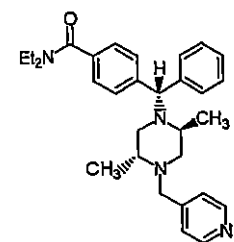
(xv)



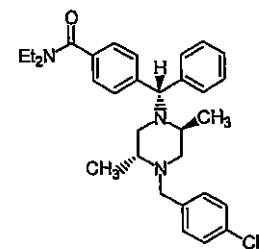
(xvi)



(xvii)

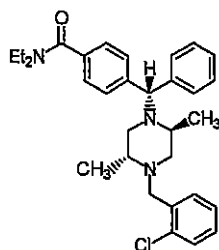


(xviii)

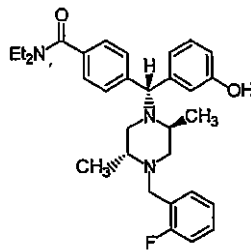


【化 3】

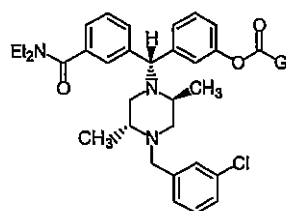
(xix)



(xx)



(xxi)



(式中、G = O - アルキル、N (アルキル)₂、およびその他薬学的に許容可能なそのエステルである。)

および薬学的に許容可能なその塩およびエステルからなる群から選択される少なくとも 1 である、化合物。

【請求項 2】

前記気分障害が、うつ病を含む、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

前記気分障害が、病的な精神および / または情緒状態を含む、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

前記気分障害が、双極性躁うつ病または季節感情障害を含む、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 5】

前記医薬は、経口、直腸、局所、舌下、粘膜、鼻、眼、皮下、筋肉内、静脈内、経皮、脊髄、髄腔内、関節内、動脈内、クモ膜下、気管支、リンパおよび子宮内投与からなる群から選択される投与様式により投与される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 6】

前記医薬が、他の気分障害治療薬をさらに含む、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 7】

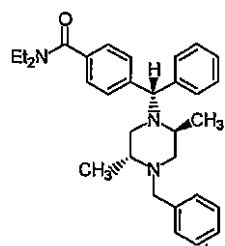
前記他の気分障害治療薬が、三環系抗うつ薬、MAO 阻害薬、5 - HT アゴニストおよびアンタゴニスト、アミノケトン、セロトニン再取込阻害薬およびアドレナリン作動性再取込阻害薬からなる群から選択される薬剤を含む、請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 8】

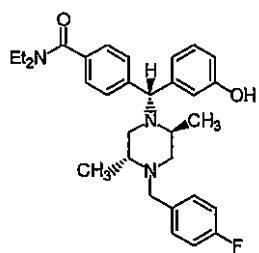
気分障害に罹っているかまたは気分障害を起こしやすい患者の気分障害を治療する組成物であって、以下の化合物：

【化 4】

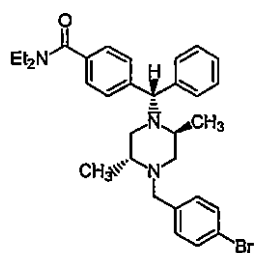
(i)



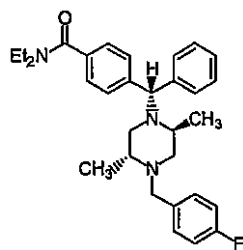
(ii)



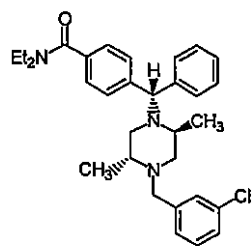
(iii)



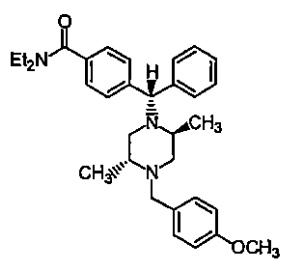
(iv)



(v)

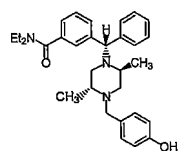


(vi)

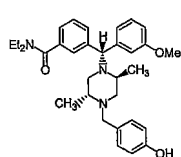


【化 5】

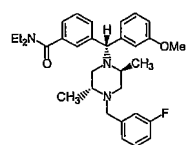
(vii)



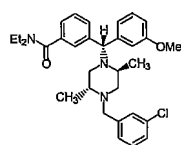
(viii)



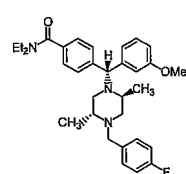
(ix)



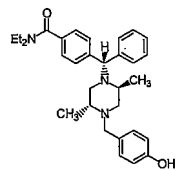
(x)



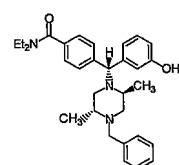
(xi)



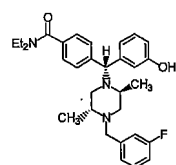
(xii)



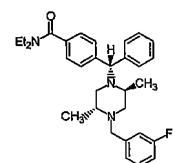
(xiii)



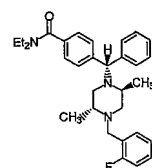
(xiv)



(xv)

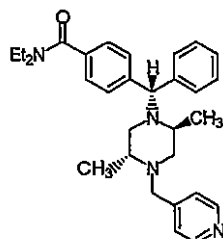


(xvi)

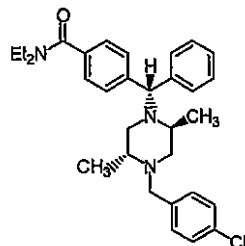


【化 6】

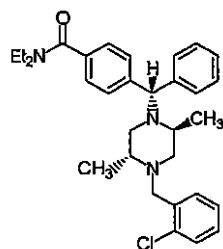
(xvii)



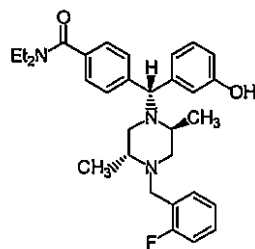
(xviii)



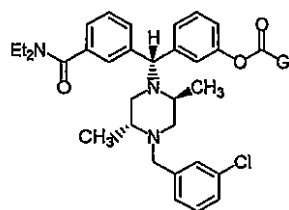
(xix)



(xx)



(xx1)



(式中、G = O - アルキル、N (アルキル)₂、およびその他薬学的に許容可能なそのエステルである。)

および薬学的に許容可能なその塩およびエステルからなる群から選択される少なくとも 1 つの化合物を含む、組成物。

【請求項 9】

単位投与形態である、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記単位投与形態が、経口投与形態を含む、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

他の気分障害治療薬をさらに含む、請求項 8 に記載の組成物。

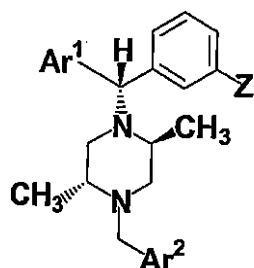
【請求項 12】

前記他の気分障害治療薬が、三環系抗うつ薬、MAO 阻害薬、5-HT アゴニストおよびアンタゴニスト、アミノケトン、セロトニン再取込阻害薬およびアドレナリン作動性再取込阻害薬からなる群から選択される薬剤を含む、請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

気分障害に罹っているかまたは気分障害を起こしやすい患者の気分障害を治療するための組成物であって、次の一般式のジアリールメチルピペラジン化合物：

【化 1 2】



(2)

(式中 :

Ar^1 は炭素原子上に置換基 Y を有する 6 員炭素環式芳香環であり、式中の Y は式中の R^9 および R^{10} が共にエチル基である式 $CONR^9R^{10}$ のカルボキサミドであり ;

Z は水素、ヒドロキシルおよびアルコキシからなる群から選択され ; そして

Ar^2 はその炭素原子上に置換基 X を有し、前記 X がハロゲンである 6 員炭素環式芳香環である。)

あるいは薬学的に許容可能なそのエステルまたは塩を含む、組成物。

【請求項 1 4】

前記ジアリールメチルピペラジン化合物が、経口投与形態で投与される、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

他の気分障害治療薬をさらに含む、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 6】

デルタオピオイドレセプターアゴニストではない他の気分障害治療薬をさらに含む、請求項 1 3 に記載の組成物。

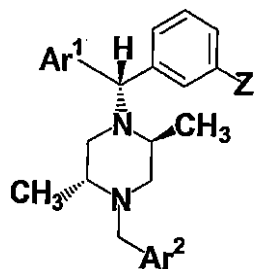
【請求項 1 7】

前記他の気分障害治療薬が、三環系抗うつ薬、MAO 阻害薬、5-HT アゴニストおよびアンタゴニスト、アミノケトン、セロトニン再取込阻害薬およびアドレナリン作動性再取込阻害薬からなる群から選択される薬剤を含む、請求項 1 5 に記載の組成物。

【請求項 1 8】

気分障害の治療のための医薬を製造するための化合物であって、前記化合物が、次の一般式のジアリールメチルピペラジン化合物 :

【化 1 3】



(2)

(式中 :

Ar^1 はその炭素原子上に置換基 Y を有する 6 員炭素環式芳香環であり、式中の Y は式

中の R^9 および R^{10} が共にエチル基である式 $CONR^9R^{10}$ のカルボキサミドであり ;

Z は水素、ヒドロキシルおよびアルコキシからなる群から選択され ; そして

Ar^2 はその炭素原子上に置換基 X を有し、前記 X がハロゲンである 6 員炭素環式芳香環である。)

あるいは薬学的に許容可能なそのエステルまたは塩である、化合物。

【請求項 19】

前記医薬が、他の気分障害治療薬をさらに含む、請求項 18 に記載の化合物。

【請求項 20】

前記他の気分障害治療薬が、三環系抗うつ薬、MAO 阻害薬、5-HT アゴニストおよびアンタゴニスト、アミノケトン、セロトニン再取込阻害薬およびアドレナリン作動性再取込阻害薬からなる群から選択される、請求項 19 に記載の化合物。